

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【公開番号】特開2011-111686(P2011-111686A)

【公開日】平成23年6月9日(2011.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2011-023

【出願番号】特願2009-266504(P2009-266504)

【国際特許分類】

D 0 1 D 5/08 (2006.01)

D 0 4 H 1/4382 (2012.01)

D 0 4 H 1/736 (2012.01)

【F I】

D 0 1 D 5/08 C

D 0 4 H 1/42 X

D 0 4 H 1/72 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

加熱溶融したポリマーの紡糸液を吐出できる液吐出部を1箇所以上と、前記いずれの液吐出部よりも上流側に位置し、加熱ガスを吐出できるガス吐出部1箇所とを有する、次の条件を満足する紡糸装置。

(1) 液吐出部を端部とする液用柱状中空部(H1)を有する

(2) ガス吐出部を端部とするガス用柱状中空部(Hg)を有する

(3) 液用柱状中空部(H1)を延長した液仮想柱状部(Hv1)とガス用柱状中空部(Hg)を延長したガス仮想柱状部(Hvg)とは近接している

(4) 液用柱状中空部(H1)の吐出方向中心軸とガス用柱状中空部(Hg)の吐出方向中心軸とが平行である

(5) ガス用柱状中空部(Hg)の中心軸に対して垂直な平面で切断した時に、ガス用柱状中空部(Hg)の切断面の外周と液用柱状中空部(H1)の切断面の外周との距離が最も短い直線を、1本だけ引くことができる

【請求項2】

請求項1に記載の紡糸装置に加えて、纖維の捕集体を備えている不織布製造装置。

【請求項3】

請求項2に記載の不織布製造装置を用いる不織布の製造方法。

【請求項4】

請求項3に記載の製造方法により製造した不織布。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の請求項 2 にかかる発明は、「請求項 1 に記載の紡糸装置に加えて、纖維の捕集体を備えている不織布製造装置。」である。